

「体力アップ!チャレンジかごしま」記録算定の注意事項について【小学校版】

児童ががんばって取り組んだ成果が、記録の申告に正しく反映されるよう、以下のことを確認してから実施・申告してください。

1 「10人でチャレンジ!」(10人で連続長縄跳び) (対象: 中・高学年)

【例】36人学級の場合……A～Dの4チームを作る。

- ① 4人は2回参加する。
- ② 4チームの跳躍回数を合計する。
- ③ 合計回数を40人で割る(10人×4チーム)。
- ④ 学級全員の平均回数を申告する。



Aチーム……185回
Bチーム……198回
Cチーム……140回
Dチーム……203回



合計726回 (A～Dチームの合計) ÷ 跳んだ人数40人 = 18.15回
申告回数……18.1回 ※ 小数第2位を切り捨て
★途中で縄にかかっても、続けて行ってください。
回数も継続して数えます。

○ 実施・申告学年は、3年生以上です。低学年の申告は、ランキングに反映されません。

2 「長縄エイトマン」(長縄8の字連続跳び) (対象: 全学年)

申告回数……3分間で跳んだ回数



○ 3分間、途中で失敗しても続けて行い、回数も継続してカウントします。

3 「レッツ短縄跳び」(みんなでいっしょに短縄跳び) (対象: 全学年)

【例】8人学級の場合

A……56回 B……89回 C……68回 D……103回
E……69回 F……92回 G……47回 H……110回

合計634回 (A～Hの合計回数) ÷ 跳んだ人数8人 = 79.25回
申告回数……79.2回 ※ 小数第2位を切り捨て
★跳び方は、1回旋1跳躍でかけ足跳びではありません。



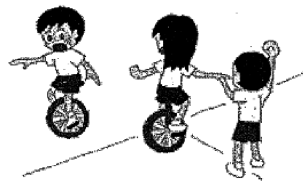
○ 1分間、途中で失敗しても続けて行い、回数も継続してカウントします。

4 「一輪車でGO!」(一輪車リレー) (対象：全学年)

【例】9人学級の場合

リレーのタイム……58秒÷9人=6.444秒

申告記録……6.5秒 ※ 小数第2位を切り上げ



- 極小規模校においては、5人以下の実施でも申告可能です。ただし、1人のみの実施は、申告できません。

5 「馬跳びピョンピョンピョン!」(連続馬跳び) (対象：全学年)

【例】11人学級の場合……2人組が6組(1人は2回参加)

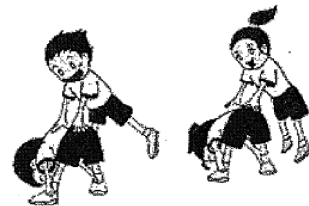
A組……58回 B組……49回 C組……32回

D組……63回 E組……55回 F組……50回

合計307回÷跳んだ人数12人=25.58

申告回数……25.5回 ※ 小数第2位を切り捨て

★1人が往復跳び、次にペアの相手と交代します。



- カウントする回数は、「跳んだ回数」です。
※ 1人が「往復」跳ぶので、「2回」跳んでペアの相手と交代です。
- 割る数の「跳んだ人数」は、必ず「偶数」となります。

6 「2人でさっさっ」(手つなぎ横跳び) (対象：全学年)

【例】15人学級の場合……2人組が8組(1人は2回参加)

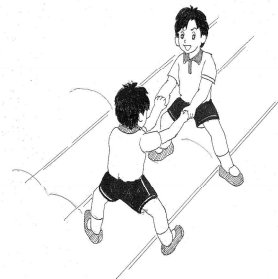
A組……20回 B組……22回 C組……24回 D組……34回

E組……18回 F組……31回 G組……19回 H組……15回

合計183回÷跳んだ人数16人=11.43

申告回数……11.4回 ※ 小数第2位を切り捨て

★2人の回数が違う場合は、少ない方を記録とします。



- 「跳んだ組」ではなく、「跳んだ人数」で割って記録を出します。
- 割る数の「跳んだ人数」は、必ず「偶数」となります。

7 「のばしてコロコロ」(対象：全学年)

【例】8人学級の場合

Aさん……8回 Bさん……10回 Cさん……12回 Dさん……15回

Eさん……6回 Fさん……9回 Gさん……11回 Hさん……7回

合計78回(Aさん~Hさんの合計回数)÷人数8人=9.75

申告回数……9.7回 ※ 小数第2位を切り捨て

- 制限時間内(1分間)に、ボールを転がしながら体の周囲を回した回数を申告します。

